

Tシャツ受託ライン倍に

丸井織物 法人受注増に対応

スポーツウェア向け生地製造を手掛ける丸井織物（石川県中能登町）は、Tシャツなどの受託製作事業を強化する。少量短納期が強みとなり、法人からの受注が増えていることに対応。生産能力を2倍にあたる月2万枚にまで引き上げる。個人向けでもスマートフォン（スマホ）アプリからデザインや注文ができるようにして利便性を向上し、事業拡大に弾みをつける。

アプリで個人も拡大

今はプリント印刷機

と乾燥機で構成する2ライン体制で、生産能力は

月1万枚程度。

来春をめどに計4ラインに増設

し、月2万枚まで生産能

力

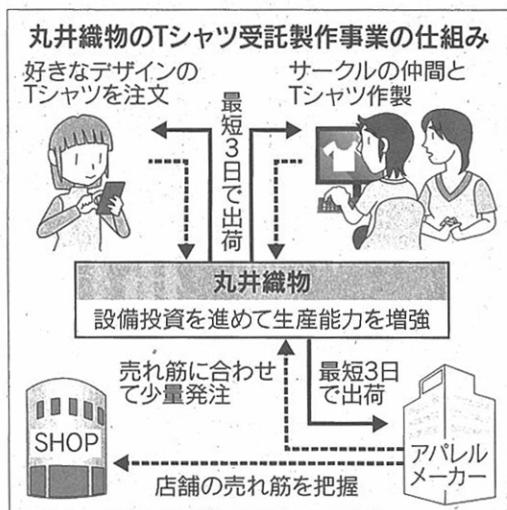
を高める。設備投資金額は数千万円程度の見通し。作業者も現状の3人から5人に増やす。来夏期に月3万枚体制への増強も検討する。

同社は「UP-T」（アップティー）との名称で昨年2月からインターネットを活用した新サービスを始めた。自分や他人が登録した独自のイラストや写真などを使い、ホーミページ上でTシャツや小物を自由にデザインする例が多い。

立ち上げ当初の生産能力は月1000枚だったが、受注状況に応じて順次強化してきた。アップティーはアパレルメーカーやキャラクタービジネスを手掛ける会社からの注文にも対応している。従来、そうした企業は人件費が割安なアジアに大量発注するケー



法人と個人からの受注拡大を狙う（石川県中能登町）



スが多かった。しかし、アップティーなど100枚程度までなら最短3日で出荷できる。店舗での売れ筋に応じて少量かつ短納期で発注でき、法人需要を取り込んでいる。

個人利用のさらなる拡大を狙った取り組みも始める。8月中にはスマホ用にアプリを配信。アップティーに登録されているイラストや写真に加え、スマホ内で保存している写真などを使ってTシャツのデザインが手軽にできるようになる。今後、個人利用については出荷にかかる日数を現状の最短3日からさらに短縮するサービスの導入も検討する。

2016年12月期のアップティーの売上高は約1億円の見込み。一連の設備投資やアプリの導入などにより18年12月期には3億円にまで引き上げる。丸井織物全体の15年12月期の売上高は約80億円だった。